

鶏舎へのネズミ侵入防止対策について研修を実施

広域防疫センター主催の「鳥インフルエンザ発生予防対策指導目合わせ研修」が9月16日に府内肉用鶏農場にて実施されました。

鳥インフルエンザの発生予防にあたっては、鶏舎内へのネズミ等の野生鳥獣の侵入を防ぐことが非常に重要であるため、当センターからは、家畜保健衛生所職員や農場向けに「鶏舎におけるネズミ侵入防止対策のポイント」についての講義や、実際に鶏舎を周囲のネズミの侵入経路の有無について確認を行いました。

参加者からは「ホースを壁に通す際の隙間対策はどうすればよいか。」「ネズミの跳躍能力はどのくらいか。」等の活発な質問が寄せられ、鳥インフルエンザ対策への意識の高さが窺われました。

当センターでは今後も府内家畜保健衛生所と連携し、鳥インフルエンザ発生防止に向けた支援・指導を継続していきます。



ネズミ防止対策の講義の様子



鶏舎周辺のネズミの侵入経路について確認